

# 業種別部会長シンポジウム

「2015年上期の回顧と2015年下期の展望」  
必ず復活！ブラジル ～日系企業はどう立ち向かうか～

## 機械金属部会

### 1 機械金属部会の業種・分野別分類

全体概況 ..... Page 3

セグメント別レポート.....Page 4～9

2 造船業界タスク フォース会議の推移.....Page 10～11

2015年8月20日  
川崎重エブラジル

# 業種別部会長シンポジウム

## 機械金属部会

「2015年上期の回顧と2015年下期の展望」

必ず復活！ブラジル ～日系企業はどう立ち向かうか～

### 業種・分野別分類

- |                             |              |
|-----------------------------|--------------|
| (1) 鉄鋼業                     | (4) 建設機械業    |
| (2) 発電・社会インフラ業<br>(都市交通・鉄道) | (5) 農業機械業    |
| (3) プラント機械・船舶業              | (6) 工作・計測機械業 |

# 全体概況（共通）

## 2015年上期の回顧

- ✓ **インフレ**率の高止まり、政策金利は上昇。資金調達コストの増大で設備投資低迷。
- ✓ 国民の**消費マインド**も縮少し、自動車の販売台数などは 14年度比で17%減少。
- ✓ **ペトロbras**の案件は予算40%削減でパイプ油井管・船用DGの商談数が激減。原油価格の低下もあり、大型プロジェクトも軒並み延期。
- ✓ **ラバジャット**捜査が経済界・政界に広がり、収束の見通しが建っていない。不透明感の中、銀行資金の流動性が乏しくなり、企業の倒産・支払遅延件数が増加。
- ✓ **中国**経済の成長率低下、**EU**経済の不安定化、**南米**諸国でのデフォルト発生など成長鈍化が顕著で、リアル安にも拘らず、輸出産業不振。

## 2015年下期の展望

- ✓ レヴィー財務大臣は財政立て直し、インフレ沈静を軸足に政策を進めており、**政策金利**も14%後半が予想され 経済成長にはマイナス効果（GDP成長率はマイナス2%を予想）。
- ✓ ブラジル国際の**格付け**引き下げが予想され、資金調達コスト増加が見込まれる。
- ✓ 輸出先の低成長傾向は継続が予想され、輸出は不振。**原油・鉄鉱石・コモディティ**需要減で、市場価格も低迷が続くと予想。
- ✓ ペトロbras汚職疑惑は関連企業の**流動資金不足**をまねき、サプライチェーン全体の縮小化を誘導している。復活は早く2016年下期、**鉄鋼は2018年**まで期待薄。

ブラジル経済が復活するためには！

- ラバジャットの早期終結
- 農業・エネルギー第一次産品の相場上昇
- インフレ収束

# 1.鉄鋼業

## 2015年上期の回顧

	鋼材見掛消費	粗鋼生産量
2013年(実)	2,640万トン	3,420万トン
2014年(実)	2,460万トン (前年比▲7%)	3,390万トン (▲1%)
2015年度(予)	2,260万トン (前年比▲8%)	未定

内需は 2014年、2015年ト年間**200万トン減少**したが、粗鋼生産量は大きく落ちていない。国内の落ち込みを輸出でカバーしてきた。今年 Usiminasは高炉2本の休止を発表 2015年度**粗鋼生産量も▲150万トン**と予想される。

背景：  
自動車製台数の上期は前年同期比▲18.5%  
造船・ペトロブラス関連も大幅減

## 2015年下期の展望

ブラジルの経済概況の好転にはかなりの時間を要する。  
鉄鉱石の市況は 中国市場の需要に大きく左右されるが、その反転回復は 中国経済の回復時期を考えると、2018年以降と予測する。

レアル安を背景に国内の減少を輸出で補ってきたが、ブラジルの鉄鋼業にコスト競争力があるということではなく、**鉄鋼不況の恒常化**が懸念される。

## 2.発電・社会インフラ(都市交通・鉄道)

### 2015年上期の回顧

#### 発電

**水不足・電力代金の高騰**は電源の多様化ニーズを拡大させた。小型水力、風車、火力の発電案件が期待される。先の電力オークションでもバイオマス・ガス大型火力の計画が具体化しつつあるが、ファイナンスとガス安定供給の確保が案件成立の懸念材料となっている。

**紙・パルプ業界**の設備投資意欲は高く、回収ボイラーなどの商談が継続している。

**石油・ガス・石化・製鉄**向けの新規案件は凍結あるいは繰り延べとなっている。

#### 交通 インフラ案件

サンパウロ地下鉄6号線を昨年正式受注し、プロジェクト立上げを行った。2020年完工を目指し、現在設計工事を遂行中。サンパウロ市向けに検討している案件は数プロジェクト有るものの、商談はほぼ止まっている。

### 2015年下期の展望

- ✓ 引き続き、深刻な水不足により電気代高騰、電源多様化が加速される可能性が高い。再生エネルギー 風力・バイオマス発電案件の増加を見込む。ガス焚大型火力の引合いも。
- ✓ 電力事情の悪化を背景に、**小型・分散型**発電セットの需要増が見込まれる。NG焚ガスエンジンの引合いも出始めている。
- ✓ 工場 **省エネ**発電投資の検討も再開されている。

大都市を中心に都市交通**インフラ改善**のニーズは依然高く、複数の都市で地下鉄等建設計画は有すものの、施主となる州・市政府も新政権発足直後であり、商談プロセスは遅れる見込み。

### 3.プラント機械・造船

#### 2015年上期の回顧

**製鉄**： 需要減少で新規投資案件見合わせ、高炉休止・生産調整などもあり 上半期の実績は非常に厳しい。

**石油ガス**： ペトロbrasの業績不振は改善されず、新規投資案件は実質凍結の状態。油井管の引合いも停止状態。

**石油化学**： 新規投資活動は鈍化した状況継続。

**製紙パルプ**： 世界的パルプ需要は以前高く、各社設備投資を検討している。本分野でのブラジルのコスト競争力有り。

**造船**： ペトロbras疑惑の影響で傭船会社 (SETE BRASIL)からの入金が滞り、事業継続に支障大。FPSO・プラットフォーム案件も商談凍結状態。

**産業機械**： 景気減速により、ブラジルのセメント各社は設備新增設計画を延期。又、客先のプロジェクトは進捗せず、新規案件の成約には至らなかった。設備既納の客先からは、安定的にスペアパーツの受注を獲得している。

#### 2015年下期の展望

資源価格の下落・市場縮小で明るい材料乏しく、改造・補修需要程度か？

各種案件の資金調達に支障が生じる見通し。大型PJの計画は凍結若しくは大幅な遅れ

好調継続を見込む

造船会社の資金難を回避できる融資・出資スキームの構築を早期に行えるかが鍵。ペトロbrasの投資計画見直しで、契約納期などの修正が必須。

南米全体のセメント消費は拡大する方向だが、ブラジルでの設備投資は低迷する。ローカルマニュファクチャーも視野にスペアパーツは受注を図る。

## 4.建設機械

### 2015年上期の回顧

**建設機械：** 2014年度の建設機械(小型建機は除く)は15,840台、前年に比して+68台+0.4%の微増となった。同年は大統領選挙の年であり、景気対策の一環として、農業開発省(MDA)向け tender があったため。2015年は上期3,863台と▲50%超、Tender 分を除いても ▲35%受注台数となり 落ち込みが顕著。政府の予算不足、ラバジャツ事件に起因するプロジェクトのサスペンド、景気の先行き不透明感による 建設会社・レンタル会社の投資見送りが原因。

**小型建機ビジネス：** 小型バックホールは、2014年の輸入統計全体では、前年比135%伸長しており好調であったが、1-6月の販売統計では前年比69%と低迷。

### 2015年下期の展望

中長期の新インフラプロジェクトが発表されたが、実需につながるのは、**2016年後半**以降との見通し。  
ペトロロブラス収賄事件に関与したとされる大手建設会社は、当面インフラプロジェクトに入札できない状況が続けば、それらの進捗も注視していく必要あり。

労働賃金の上昇により、小型建機の増加トレンドは中期的には変わらないと考えるが、2015年度中は 需要の低迷が継続すると推測する。

## 5.農業機械(小型ディーゼルエンジン含む)

### 2015年上期の回顧

#### 小型ディーゼルエンジンビジネス

2014年の小形ディーゼルエンジンの販売(発電機セット含む)は、全般に前年並みであったが、2015年上期の発電機セット・農耕車両向けのエンジン販売は台数・金額ベースとも **前年比119%**と好調。

#### トラクタービジネス

2014年度は 1-12月で全体で前年比85%、弊社ブランドのトラクター販売も、前年比で89%に留まった。2015年度は 14年度に引き続き、農作物の収穫が良好である反面 市場価格が下落しており、また、政府の低利融資が滞っており、昨年に増して販売は低迷している。1-6月期 **前年比78%**に留まった。

### 2015年下期の展望

上期好調の反動で受注ペースは鈍ると予想。建設作業向けの需要は暫らく回復せず、年間では、台数ベースで 2014年を10%程度上回る程度と予想。20馬力以下のブラジル製単気筒エンジンの販売は、地方への電化による市場自体の縮小に加えて、安価な中国製エンジンの流入により、今後も低迷が続くことが予想される。

トラクター需要全体は昨年比20%減程度と推測するが、新機種を投入することで販売低下を回避する計画。



## 6.各種工作・計測・産業機械

### 2015年上期の回顧

2015年上期実績は、ブラジル経済のマイナス成長、特に**自動車産業の生産台数20%超**の大幅な落ち込み 特にトラックは45%減と深刻な状況で、同事業向けの工作・切削・計測機械の売り上げは大幅に落ちている。

さらに、2月以降の50%近くに及ぶ急激な**リアル通貨安**は 輸入金額の上昇となり、経営を圧迫している。

通貨の大幅変動に対応するため、日本本社との間の決済通貨を**リアル建**として ブラジル法人の通貨リスクを回避した。

### 2015年下期の展望

長引くブラジル経済の低迷と先行きの不透明感から、消費者の新車購入意欲改善は当面見込めず、ブラジル自動車工業会の2015年の見通しでは 販売17.8%減、生産20.6%減となっている。景気回復時期については、**2016年半**ば以降となるであろう。 **政権交代**までは 回復しないという意見も多い。

#### [ 対策 ]

- ✓ 自動車業界低迷の中、トヨタ、ホンダがシェアを伸ばしている。**航空機、医療・食品、農業**分野への取り組みと同様に シェアアップを図る。
- ✓ 新規需要の回復スピードは遅く **AS市場**の掘り起し コストダウンが重要。
- ✓ 工場の人員削減・生産調整などを実施しながら、操業利益を確保する。
- ✓ **高性能・省エネ**製品の投入で市場開拓

## Petrobras疑惑が及ぼした機械金属部会企業への影響

	間接	直接
1. 鉄鋼		油製管用鋼材の引合い殆ど停止 造船各社(FPSO, DS等Petrobras備船)の鋼板商談停止
2. 発電・社会インフラ	火力発電案件の計画遅延	
3. プラント機械	O&G等、Refinery設備引合い中断	契約の一部解除(EPCコンソーシアム)支払い遅延
4. 造船	案件見直しで、契約内容の修正(?) 船用D.Engの引合いは2年間無し	支払い遅延 SETE BRASIL 労働者解雇、倒産危機
5. 建設機械	大手ゼネコンの公共事業への入札停止などで、引合い数は低調	
6. 農業機械		
7. 産業工作機械	投資計画見送り	資金回収難、代理店の倒産、契約キャンセル
8. 機械・計測機器	投資案件の遅延 日本からの投資意欲半減	支払い遅延ABMAQ調査 不良債権化
9. 潤滑油		

## 日伯造船 タスクフォース会議

5月14日 ジルマ大統領/ブラジル政府機関 と 造船3社代表者面談  
鉱山エネルギー省 Braga大臣、財務省 Levy大臣、  
ペトロブラス Bendine総裁、ヴァーレ Murlio Ferreira社長  
伯開発銀行 Coutinho総裁、ブラジル銀行 Alexandra Abreu社長

- 合併造船所への支援の確認
- 日伯造船協力枠組みの堅持
- Sete Brasil ドリルシップ建造資金不払いの解消
- 伯開発銀行他による 必要資金の注入

5月26日 第1回 TF 会議 (日本国政府・国土交通省の参画)

7月20日 第2回 TF 会議 (日本国政府・国土交通省の参画)

ペトロブラス・Sete Brasil 再建計画に沿って、伯開発銀行に代わり、ブラジル銀行・CAIXAが主導権をとって 支払い・融資計画を検討中。他方、ラバジャット捜査が経済・政界で収束する見通しがなく、明確の方向性が出ていない。会議の継続。